

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第1回運営委員会

令和8年7月8日(水)



1. 開会あいさつ

2. デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

- ① 交流の場の充実
- ② 課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
- ③ 若者の巻き込み
- ④ Well-Beingの向上
- ⑤ 令和8年度の各種取組スケジュール

3. 各委員からの取組発表・意見交換

4. 副委員長からの意見

開会あいさつ

委員長（浜松市副市長） 山名 裕



会議進行上のお願い

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- **オンラインでの参加者**

「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。

- **現地参加者**

テーブルのマイクにてご発言ください。

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組



交流の場の充実（フォーラム）

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

若者の巻き込み

Well-Beingの向上

令和8年度の各種取組スケジュール

目的

- **機運醸成** AIをはじめとしたデジタルの力を最大限に活用し、官民連携でデジタル・スマートシティ浜松に取り組む機運を醸成する。
- **連携促進** 分野間の連携やプラットフォーム会員間の情報共有・連携を促進することで、地域課題の解決や新たなビジネス創出を図る。
- **若者参画** 若者に対して、デジタルを活用したまちづくり関連した施策等の情報を発信することで、若者の積極的な参画を図る。

前回からの 変更点

若者向けイベントを午前の部として**新設**

- ・ 大学生をメインターゲットとして、ワークショップ形式のイベントを実施。
- ・ 事前に提示した地域課題に対して、デジタルの力を活用した課題解決の施策を提案。

開催概要 （予定）

- **開催時期** 令和8年12月下旬（予定）
- **開催方法** ハイブリッド方式（現地＋オンライン）
- **プログラム** 午前の部：ワークショップ形式イベント＜若者向け＞
午後の部：セミナー形式イベント＜一般向け＞
※午後の部終了後、現地参加者を対象とした交流会を予定。

※昨年度のフォーラムの様子



デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

交流の場の充実

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

(ソリューションピッチ&ミートアップイベント、データ連携基盤に係る取組)

若者の巻き込み

Well-Beingの向上

令和8年度の各種取組スケジュール

官民連携PF会員間の連携促進等を目的に、ミートアップイベントを開催

事業目的

官民連携による地域課題の解決や、官民連携プラットフォーム会員間の連携促進

事業内容

- ・プラットフォームの会員によるソリューション紹介のピッチと参加者の交流会を組み合わせた交流・連携促進イベント
- ・令和8年度も引き続き、**2回開催**予定（第1回：9月／第2回：1月予定）

<第1回> 令和8年9月1日（火） 14:30～17:00 @FUSE

※第1回の参加募集中！（ピッチ登壇企業等、オーディエンス） 申し込みはこちら▶



昨年度 イベントの 様子



<第1回> 令和7年9月9日実施 **58名**が参加



<第2回> 令和8年1月13日実施 **60名**が参加

- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行う
- ・ 令和2年度からスタートし、令和7年度までに30件の実証実験を支援

 **Hamamatsu ORI-Project** 正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創

事業内容

- 令和8年度は3つの取り組みを並行して実施
- 1 地域課題解決型
 - 2 官民連携プラットフォーム会員提案型【新設】
 - 3 データ連携基盤の利活用促進イベントの実施

スケジュール



今年度のHamamatsu ORI-Projectでは、次の3つの取組を並行して実施

Hamamatsu ORI-Project 

取組概要

1 地域課題解決型 <募集中>

庁内の各部門から提示された課題テーマについて、データを活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における実証実験を支援。

2 官民連携プラットフォーム会員提案型 **【新設・7月下旬テーマ募集開始（予定）】**

浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム会員（テーマ提示会員）の提示する連携テーマについて、対応可能な事業者を公募し、テーマ提示会員と連携して事業検証の支援を実施。

3 データ連携基盤の利活用促進イベントの実施 2026年9月頃募集開始予定

浜松市内で、エンジニアでない人材でもデータ連携基盤のデータに触れ、その利活用を検討できるイベントを実施。

目的

プラットフォーム会員の提示テーマを起点に組成した実証プロジェクトの実施により、官民連携による地域課題の解決およびデータ利活用の推進を図る。

対象

- ・ テーマ提示：デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム会員
- ・ 連 携 先：企業または個人事業主（会員問わず） ※民民連携の場合

プロジェクト の ポイント

- ・ 官民連携プラットフォーム会員が連携プロジェクトテーマを提示
 - ・ 将来的に浜松市データ連携基盤の活用を想定できる（何らかデータを活用する）
 - ・ （副次的に）地域課題の解決に資するテーマ
- ・ 提示された連携プロジェクトテーマについて、連携したい企業・団体を募集
- ・ **マッチング**を実施しプロジェクトを組成する
- ・ 民民連携・官民連携どちらも対象とする

連携先 応募要件

- ・ 企業または個人事業主 ※規模・所在地は問わないが、テーマを提示するPF会員の希望を優先する
- ・ PF会員が提出したテーマについて、実証プロジェクトを行う意思があること 等

- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に対する補助制度
- 令和4年度から開始し、令和7年度までに9件の活用実績

目的

本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民の生活の質の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

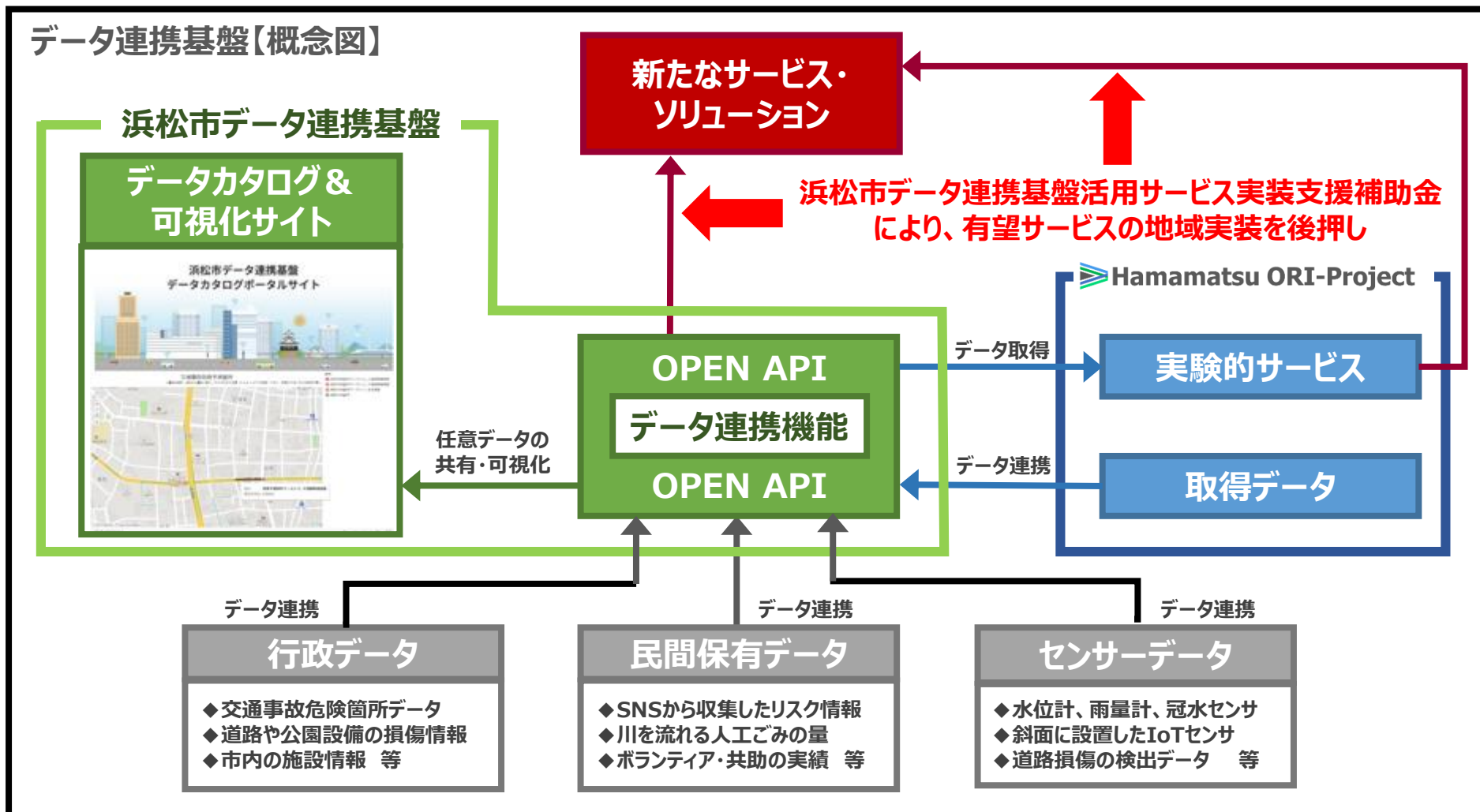
事業概要

- データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- 補助金額は、補助上限額150万円/件（採択年度中にデータ連携基盤とのデータ連携を行う案件の場合250万円/件）、補助率1/2以内

スケジュール

	2026										2027		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
補助金			申請受付		審査	補助事業実施							成果発表会 合同

- データ連携基盤は、データの翻訳と認証送達機能を核とし、分散して存在する多種多様なデータの「ハブ」となり、「データの流通・連携を促進」する機能をもった基盤
- 浜松市は、令和4年度末に本番運用環境のデータ連携基盤をSaaSとして導入し稼働



※現在外部に提供しているデータは「○」で囲んでいます。



AI分析によって導き出した市内の
交通事故発生危険箇所データ



市の冠水頻発エリアに設置された
冠水センサや水位計の観測データ



河川水面の動画解析により推計した
河川を流れるごみの量のデータ



市内の斜面に設置された計測器の
観測データ (**土砂災害の監視**)



市内の障害者施設などで検知された
笑顔のデータ (場所、回数、時間)



作業中の林業従事者の位置情報
(**林業従事者の安全確保**)



避難所の**防災備蓄物資**データ



中心市街地の**人流データ** (実績)



車載カメラとAI分析によって検出した
道路損傷箇所のデータ



SNSの投稿等からAIで収集した**市内
の災害・事故リスク**情報



市民の投稿による**道路や公園設備の
損傷情報、不法投棄の通報**情報など



市内で行われた**ボランティア活動や
助け合いの実績**データ



共助型**地域交通の運行データ**



市内の河川付近の水位計や雨量計
の観測データ (**水害発生**の監視)



複合センサの観測データ
(**気温、CO2濃度、混雑度** 等)



市内の**盛土箇所**データ



市内の**スポーツ・文化施設等の予約
実績**データ

■ 浜松市データ連携基盤データカタログポータルサイト

<https://datapatformportal.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

(参考) Hamamatsu ORI-Projectの概要

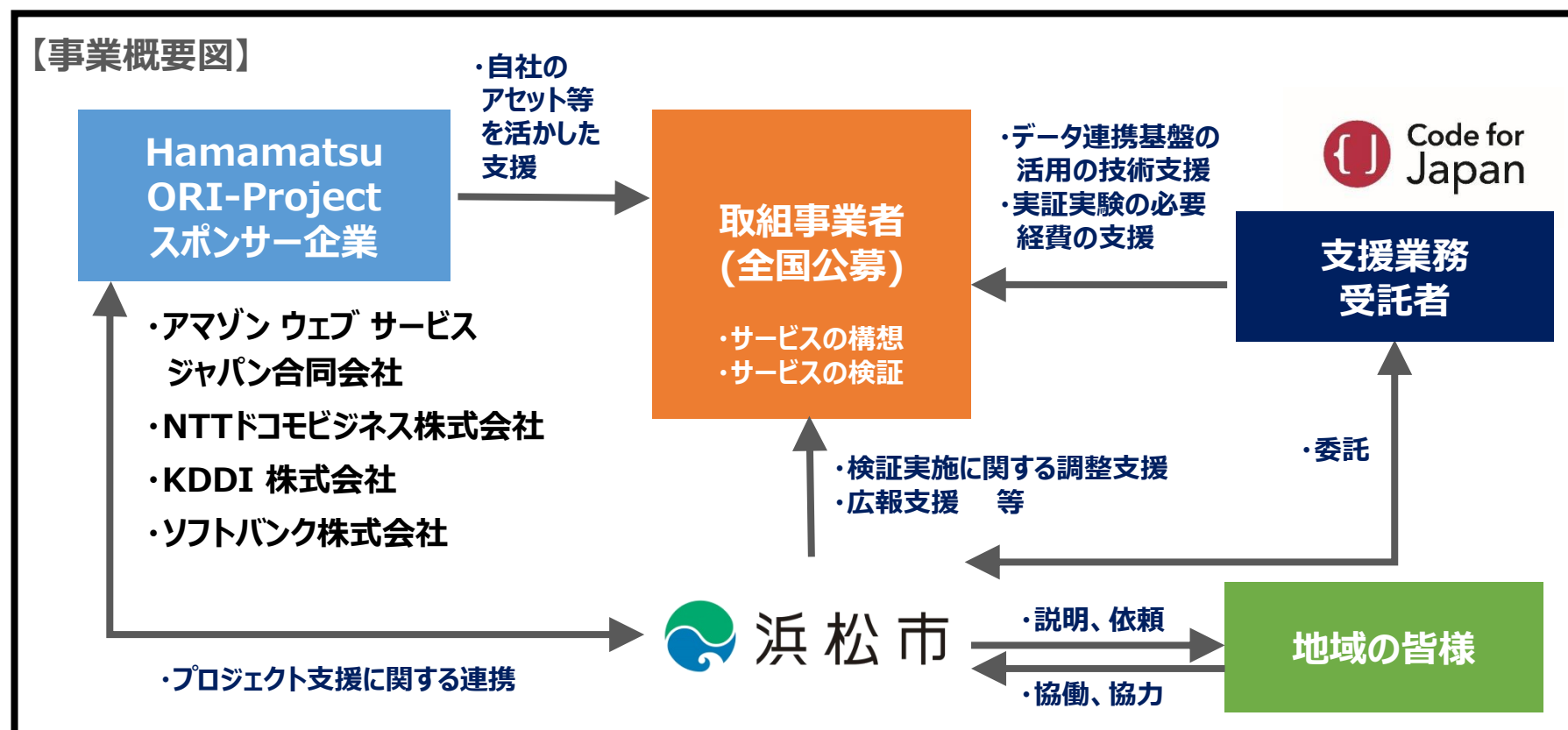
- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの 構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行う
- ・ 令和2年度からスタートし、令和7年度までに30件の実証実験を支援

➤ Hamamatsu ORI-Project 正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創

【事業概要図】



デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

交流の場の充実
課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
若者の巻き込み
(高校、大学との連携、講師派遣制度、出前講座)
Well-Beingの向上
令和8年度の各種取組スケジュール

官民連携PF会員である浜松聖星高等学校と連携し、高校生主体の取組を実施

目的

道路損傷等の通報の体験を通して、浜松聖星高等学校の生徒に本市の**安全で安心なまちづくり**に貢献してもらい、また、本市の**まちづくり**や**地域課題**について「**自分事**」として考えてもらう機会とする。

取組概要

■ 内容

生徒が登下校中などに発見した道路損傷等を、浜松市公式LINE「しゃんべえ情報局」の「**通報サービス いっちょお！**」により、集中的に本市の土木部門へ通報する。
その後、通報を受けた土木部門が修繕等の対応を実施する。

- **通報期間** 令和8年5月15日（金）から6月19日（金）まで
- **参加者** 浜松聖星高等学校の**全校生徒 779名**
- **その他** 令和6年度、令和7年度に続き**3年目**の取組です。
- **通報件数** **241件** ※昨年度の**約4.9倍**の通報件数

道路損傷などを
LINEから通報



道路管理者（浜松市）が
修繕対応

教育・研究機関と連携し、若者を巻き込んだまちづくりを推進

開催概要

日 時 ①6月20日（土）アイデアソン（※）、②7月4日（土）データソン（※）

場 所 静岡大学浜松キャンパス

テーマ 2040年問題×データ可視化：オープンデータで幸福度日本一を実現しよう！

参加者 静岡大学・静岡文化芸術大学の学生、浜松聖星高等学校の生徒

講 師 一般社団法人シビックテックラボ 代表理事 市川博之 氏

座 組 主催：静岡大学情報学部、共催：静岡県、浜松市

（※）「アイデア」「データ」と「マラソン」をかけ合わせた造語。決められたテーマに則って、ひたすらアイデア出しやデータ作成を行うことで、これまでに無かった新しいアイデアやサービスを生み出す取り組み。



官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催

※令和8年度6月30日時点

対象

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

講師
講義内容

● 講師

官民連携プラットフォーム会員

10 団体（**10** 講座）

● 講義内容

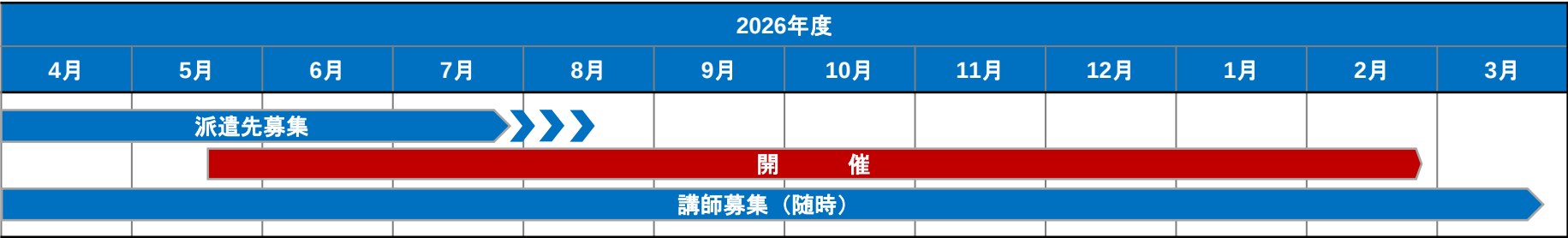
- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介



申込状況

申込受付済 **2** 件、うち開催済 **1** 件（6月25日：瑞穂小学校）

スケジュール



講座一覧 （令和8年6月30日時点）※講師登録順

No	講座名	講師団体
1	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社
2	ドローンと私たちの社会生活について	株式会社トラジェクトリー
3	スポーツ×ICTのご紹介	NTT西日本株式会社
4	子育ての課題をデジタルで解決する	認定NPO 法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ
5	浜松市のスマート農業	浜松スマート農業推進協議会
6	さまざまな地図（GIS）の活用	株式会社フジヤマ
7	産業分野におけるイノベーション創出とDX	リンクウィズ株式会社
8	視覚障がいとICT	特定非営利活動法人 六星 ウイズかじまち
9	ドローン講座	企業組合フジヤマドローン
10	『半導体』から学ぶ、未来をつくるITの仕事のおもしろさ	三栄ハイテックス株式会社

浜松市出前講座（市職員が市民等に市の仕事や制度について説明する取組）を通じ、本市のデジタルを活用したまちづくりの取組や地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴について説明

テーマ

- ①デジタルを活用したまちづくり
- ②地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴

実績

- 令和8年度第1回実施(デジタルを活用したまちづくり)

日 時 令和8年5月8日（金）15:45～17:15

対 象 浜松聖星高校2年生 31人

- 令和8年度第2回実施(地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴)

日 時 令和8年5月20日（水）14:20～15:10

対 象 静岡県立天竜高校春野校舎2年生 20人

- 令和8年度第3回実施(デジタルを活用したまちづくり)

日 時 令和8年6月23日（火）10:40～12:00

対 象 浜松学院大学地域共創学部1年生100人



5/8（金）浜松聖星高校での出前講座の様子



5/20（水）天竜高校での出前講座の様子

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

交流の場の充実
課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
若者の巻き込み
Well-Beingの向上（アワード、OASIS）
令和8年度の各種取組スケジュール

浜松市のWell-Being向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

目的

企業や団体の**Well-Beingに関する取組**を表彰し、もって企業や団体の取組を促進することで、**浜松市民の幸福感向上**を図る

表彰の種類

はままつWell-Beingインパクト賞

浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、地域幸福度(Well-Being)指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの

はままつWell-Beingデザイン賞

浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの

事業 スケジュール

募集期間	7月～9月頃
選考	10月頃
表彰式	11月下旬



はままつWell-Beingアワード2025表彰式の様子

市民の幸福感や生活満足度を高める「ウェルビーイングの視点」を学ぶ

概要

目的 職員がウェルビーイングの基本的な考えを学び、**施策を通じた市民の幸福感向上を意識する視点を養う**こと

内容 1Dayワークショップ

[午前：座学、午後：地域幸福度（Well-Being）指標を活用したグループワーク]

講師 （一社）スマートシティ・インスティテュート代表理事、浜松市FIER 南雲岳彦 氏

受講者 **33名 ※各部局（部・担当部）から1名ずつ選出。役職不問。**

午前の座学に関しては、別途**オンラインによる受講希望者**を募集（**受講者数の制限なし**）

■昨年度まで

G長級以上職員に向けた地域幸福度（Well-Being）指標に基づく全6回分の**専門的手法を用いた政策立案の実践**

■今年度

全職員を受講対象とし、**全庁的に広くウェルビーイングを浸透させるための入門編研修**を開催



昨年度のOASISの様子

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

交流の場の充実
課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
若者の巻き込み
Well-Beingの向上（アワード、OASIS）
令和8年度の各種取組スケジュール

項目		2026年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
デジタル・スマートシティ	官民連携PF 運営委員会 会員との連携				● 第1回運営委員会				● 第2回運営委員会			第3回運営委員会 ●	
		学校への会員派遣制度											
	官民連携PF ピッチ・フォーラム						● ソリューションピッチ			● ソリューションピッチ			
									● フォーラム				
	データ連携基盤 運用機能追加	浜松市データ連携基盤の運用・機能追加											
	データ連携基盤の 活用促進			公募	審査		参加募集	● イベントDay1 ● イベントDay2					
						プロジェクト組成	官民連携PF会員提案のデータ活用プロジェクトの実証実験					▲ 成果発表会	
			公募	審査	データ連携基盤活用サービス等実装支援補助事業の実施期間								
Well-Being アワード					募集	選考	● 結果発表・表彰式						
庁内連携 (推進本部会議)			★ 第1回本部会議									★ 第2回本部会議	
OASIS (Well-Being指標活用研修)						★ 研修実施							
ハママツ データ ガーデン	データ更新等メンテナンス・コンテンツ拡充等												

各委員からの取組発表・意見交換

各委員からの取組発表



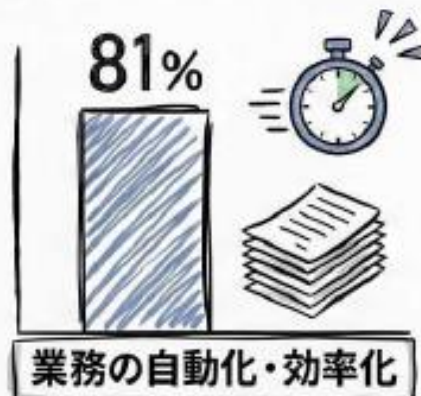
地域企業のDX・デジタル化推進に向けた取り組み
＜産業・経済分野 伊達委員＞

【浜松商工会議所】

地域企業のDX・デジタル化推進に向けた取り組み

地域企業のDX・デジタル化最前線：現状と変革への挑戦

【現状と課題】 期待は大きいですが、壁も厚い



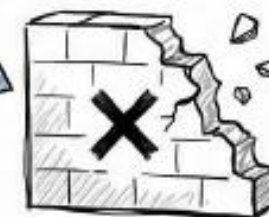
多くの企業が人手不足解消のため、
まずは時間の確保を最優先しています。



7割以上

生成AIは
「個人の思考補助」で
7割以上が活用中

調査・要約・アイデア出しなど、個人の
業務レベルでは導入が急速に進展。



DXの2大障壁：
「セキュリティ」と「推進人材」

安全な環境構築と、社内で主導できる
人材の確保が最大のボトルネックです。

【加速への取組】「意思決定力」をアップデートする



実践型「意思決定力
改革塾」の開催

バックキャスト思考で経営
戦略を再設計し、AIとデータで
判断を高度化します。



地域の「身近な事例」を
継続発信

会報誌「NEWing」等を通じ、
成功だけでなく失敗や気づきも共有。



職員による
「内部実践」の横展開

商工会議所自らがAI
エージェント等を活用し、
そのノウハウを地域へ還元。

各委員からの取組発表

共創拠点アゴラ浜松8階『SIKI』が担うスマートシティ戦略
＜金融分野 中村委員＞



2026.8.7 木 9:00~12:00
見学会開催

事前予約不要
 写真撮影OK

"多様なステークホルダーが交わる"イベント・コミュニティスペース



Wi-Fi・投影環境完備

プロジェクターやモニター、Wi-Fi
 などイベント開催に必要な設備を
 ご利用いただけます。



地域素材を使った空間設計

天竜橋や遠州織物など地域の素材を
 取り入れ、温かみのある空間
 としています。



交流会にも対応

用途に応じて、自由に会場の使い方
 を調整できます。ネットワーキングや
 懇談の場としてもご利用いただけます。



<お問い合わせ先>

アゴラ浜松8階運営事務局（株式会社静岡銀行 西部カンパニー内）
 住所：〒430-0944 静岡県浜松市中央区田町322-7 浜松営業部3階
 電話：053-454-2777

ホームページは
 こちら▼



※正式リリース前のため、
 二次元コードはまだ利用できません。

各委員からの取組発表

生成AIの取り組みについて
＜金融分野 伊藤委員＞



あなたの夢に、追い風を。

浜松いわた信用金庫

生成AIの取り組みについて

2026年7月8日(水)

浜松いわた信用金庫

デジタル推進部

部長 伊藤篤志



生成AI利活用ロードマップ

今年度より生成AIの本格的な業務活用を開始し生産性を飛躍的に向上させる

2026年3月 生成AI閉域環境の構築
2026年4月 AIパイオニア制度スタート

2023年度:試行
業務削減時間なし

2024年度:全店展開/一般的な活用
業務削減時間 少し

2028年度：生成AIが当たり前に
業務活用される状態へ！！

業務削減時間：2025年度比

100,000 時間

生成AI業務アプリ開発

閉域環境による業務活用

UP!!

役職員の
生成AI活用スキル

生成AIパイオニア制度について

生成AIパイオニアは、当金庫の生成AI活用推進における中核的な人財
各拠点における利活用推進や、ユーザーとしてツール開発に参画する役割を担う



各委員からの取組発表

静岡大学の研究開発シーズ検索システムの構築
＜大学分野 黒田委員代理＞



各委員からの取組発表

カーボンニュートラル推進協議会の取り組み
＜エネルギー分野 小田委員＞



各委員からの取組発表



地域OTAを活用した体験観光のDX化
＜観光・商業分野 伊藤委員＞

地域OTAを活用した 体験観光のDX化

浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

浜松市デジタル・スマートシティ
官民連携プラットフォーム運営委員会

取組の背景・目的

体験型コンテンツの予約方法が煩雑であったため、消費機会の損失と事務局の運営負荷が課題となっていた。デジタル化による即時予約の実現と地域経済の活性化を目指し、やらまいかReserveを整備・拡充した。

やらまいかReserveとは

地域事業者と協働で造成した体験コンテンツを、オンラインで即時予約できるBtoC向け体験販売プラットフォーム（OTA）。
歴史・文化・食・アクティビティなど多彩なジャンルをラインナップし、やらまいかツーリズムの流通基盤として機能する。

デジタルファースト

体験予約のオンライン完結

共創体制の構築

地域事業者と協働した体験コンテンツ造成

地域課題解決

観光消費拡大・域内経済循環

データ活用

月次KPI追跡と戦略改善

R7年度の成果

2,033人

参加人数（通期）

前年比 +59%（757人増）

767万円

売上（通期）

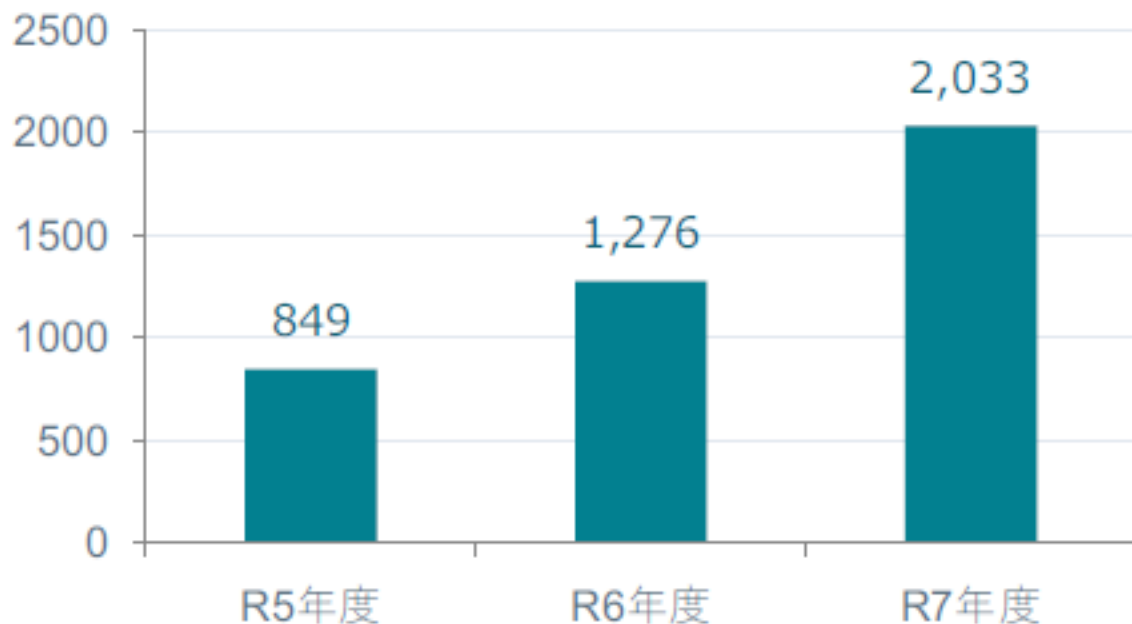
前年比 +59%（284万円増）

38件

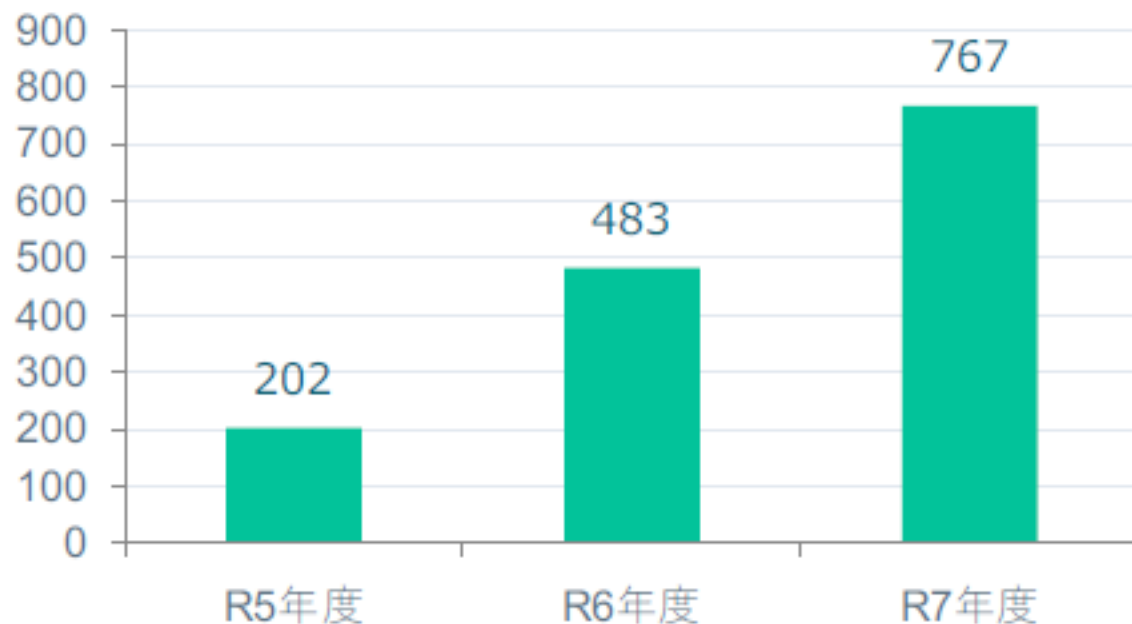
新規造成体験

地域事業者と協働で開発

参加人数推移（人）



売上推移（万円）



体験コンテンツ新規造成実績（4月～6月）

通期38件のうち代表事例。月別で多彩なテーマの新規造成体験コンテンツを開発。

4月

お茶の本場で味わう五感の茶体験

宇布乃園

4月

銅鐸と古墳でたどる
井の国の古代

2025. 4.27 (日) 9:30～13:00

ヘリチャリ！第2弾 銅鐸と古墳の井の国の古代
ビューロー

5月

火花が飛ばない溶接体験でアイアンシェ
ルフ作り
笙磨溶接

5月

天竜の里山で田植え体験

百古里を愛する会

6月

引佐の山あいではそば打ち体験

野澤屋菜園

6月

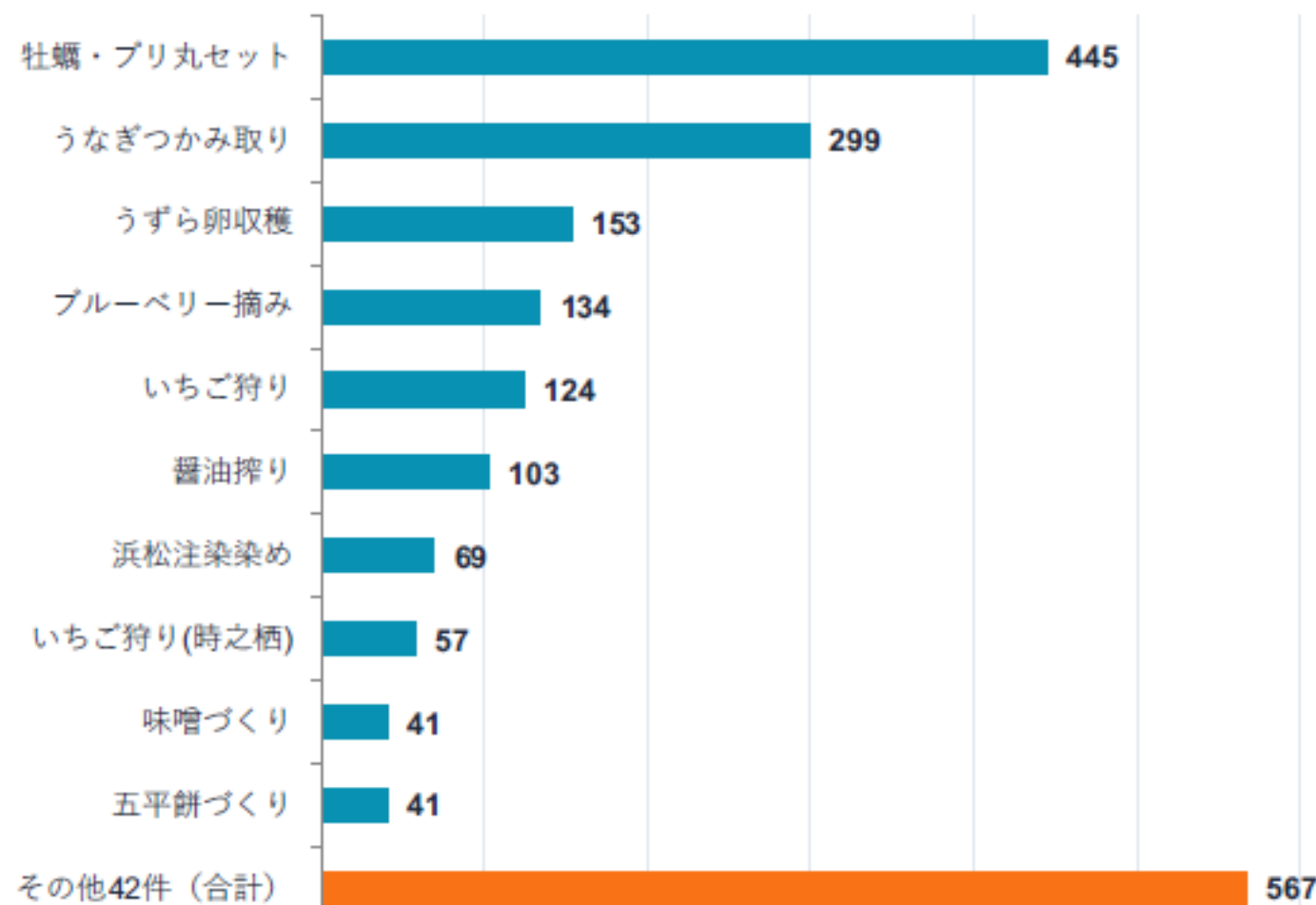
浜名湖畔の小さなガラス工房で 吹きガラ
ス体験
ガラス工房 クローバー

体験コンテンツ新規造成実績（7月～1月）

通期38件のうち代表事例。月別で多彩なテーマの新規造成体験コンテンツを開発。



やрмаいかツーリズム 体験別実績



ひとつひとつの集客は小さくても、52種の体験が多様な客層にアプローチ。
ポートフォリオ効果が全体の成長を支えている。

※「その他42件」は11位以降の体験合計

52件

R7年度 掲載体験数

多様なテーマ・地域をカバー

2,033人

通期 総参加者数

前年比 +59% (+757人)

39人

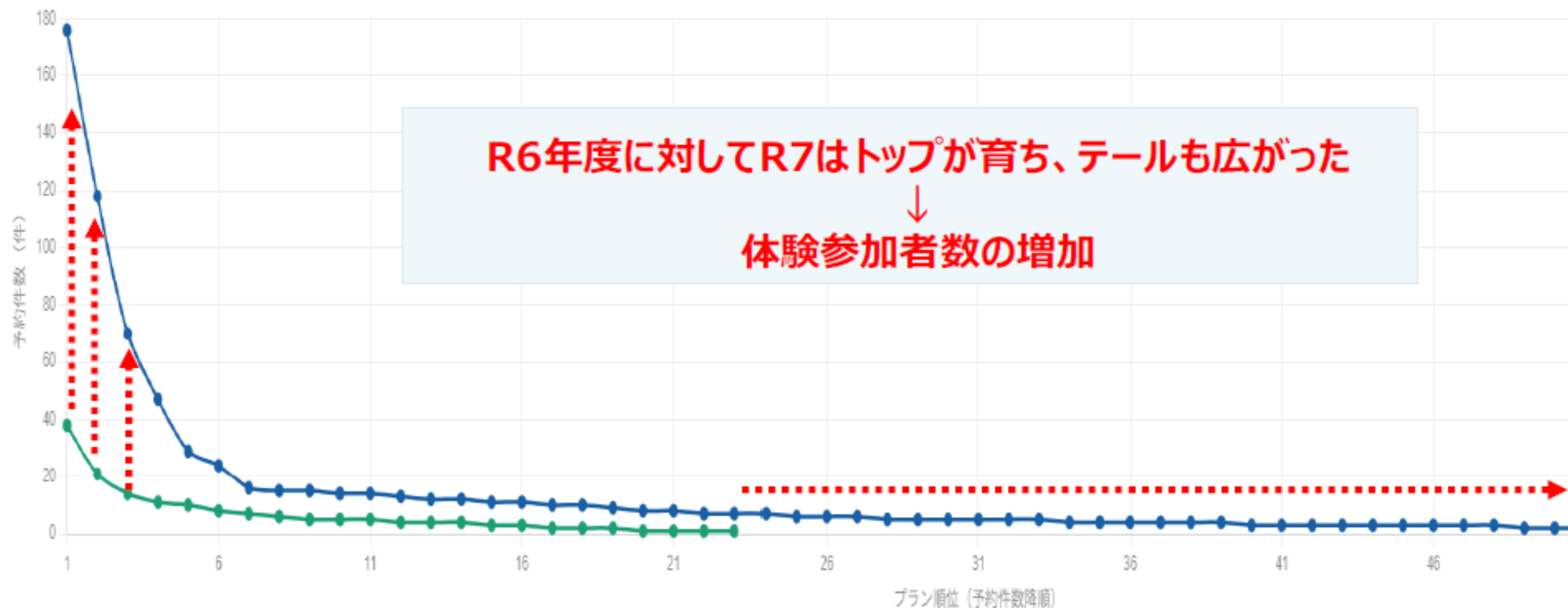
1体験あたり平均

中央値は12人/体験

上位10件 72% | その他42件 28%

やрмаいかツーリズム 体験別実績 — プラン別予約件数のロングテール分布

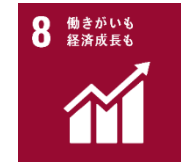
■ R6年度 ■ R7年度



各委員からの取組発表

- 浜松ウェルネスプロジェクト
- 「予防・健幸都市／Wellness City」の実現に向けて-
＜健康・医療・福祉分野 池野委員＞





浜松ウェルネスプロジェクト

- 「予防・健幸都市／Wellness City」の実現に向けて -



浜松ウエルネス推進協議会 参画企業

R8.5.19現在

あいおいニッセイ同和損害保険(株) (株)愛管 (株)アオイ楽器店 アクサ生命保険(株) (株)Active アストラゼネカ(株) (株)AZURITE ATHLEAX GYM(株) アトランス アフラック生命保険(株) 浜松支社 (株)ALY アルフレッサ(株) アロマジック(株) 杏-an-鍼灸室 イオンモール(株) イオンリテール(株)イオン浜松志都呂店 イオンリテール株式会社中部カンパニー issyou(株) 医療法人社団一穂会 illumista(株) (株)OUI NPO法人ウエルネスサポート (株)ウエルネスパートナー (株)AgeWellJapan エーザイ(株) (株)エクサウィザーズ (株)エクセボ (株)SBS情報システム (株)SBSプロモーション (株)N.G.M エネジン(株) (株)エフ・シー・シー FSPEEECH MSD(株)浜松サテライトオフィス エンケイ(株) エンシュウ健康保険組合 遠州梱包運輸(株) 遠州鉄道(株) 遠州鉄道健康保険組合 遠鉄アシスト(株)(可美公園総合センター・新橋体育センター) 遠鉄観光開発(株) (株)遠鉄ストア 遠鉄タクシー(株) (株)遠鉄百貨店 OMソーラー(株) お一川・桜の水辺の会 Oak Voice (株)オークラアクトシティホテル浜松 大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店浜松出張所 医療法人社団岡崎会 (株)カーブスジャパン (株)金指商会 可美給食(株) かみのけやさん訪問美容 神谷理研(株) 河合楽器健康保険組合 (株)巖邑堂 (株)杏林堂薬局 協和キリン(株)浜松営業所 共和レザー(株) キリンビバレッジ(株) きんまくサロンONE STEP (株)呉竹荘 (一社)Grow Up Academy (株)ケアストーン K-LINK s コア・ライフプランニング(株) NPO法人耕 興和(株) コクヨマーケティング(株) (一社)ここみ (株)ココロミル (株)小松工業 サーラエナジー(株)浜松支社 (株)サイチ 坂井不動産鑑定士・土地家屋調査士事務所 坂井モーター(株) サゴーエンタプライズ(株) 佐鳴湖ノルディックウォーク健歩会 三立製菓(株) (株)Sun Roots (株)ジーアクト (株)CNC ジーリンクス(株) 静岡県立森林公園「森林サービス産業」地域協議会 静岡新聞社・静岡放送浜松総局 (株)静岡第一興商 (株)システムゼロ 社会見学ウォーキングの会 (医)明徳会十全オアシスクリニックメディカルフィットネス&スパNiceBeaT浜松 (医)明徳会十全記念病院 (学)十全青翔学園静岡医療科学専門大学校 (一社)食とコミュニケーション研究所 NPO法人女性ウエルネス食推進機構 (株)シルバコンパス (株)新明 スクロール健康保険組合 すながわ労務サポート スズキ(株) (株)鈴木楽器製作所 鈴木楽器販売(株)浜松営業所 スズキ健康保険組合 (株)スモールポンド (同)スリーウィン (株)誠風庵・大山一誠アトリエ 生活協同組合ユーコープ小豆餅店 生活協同組合ユーコープ佐久間店 生活協同組合ユーコープさんじの店 生活協同組合ユーコープ富塚店 (株)創生 (株)ソフトウェアプロダクツ ソフトプレン工業(株) (株)ソミックアドバンス 損害保険ジャパン(株) SOMPOひまわり生命保険(株) 第一生命保険(株)浜松支社 (株)タカラ・エムシーマム肉市場 テクノ店 高部鍼灸院 NPO法人地域創生支援事業団 中外製薬(株)浜松オフィス (株)中日ショッパー 中日新聞東海本社 中部電力(株) (株)デ이지ー (株)This is グループ (株)ティップネス テレリハ(株) DENBA JAPAN(株) 社会福祉法人天竜厚生会 天竜浜名湖鉄道(株) (株)東海トラベル 東京海上日動火災保険(株) Total body care salon TAIKAN (株)Total Life Design 浜松支店 凸版印刷(株)中部事業部浜松営業所 (株)TOMORUN (有)ドラッグストア・カミヤ 鳥居食品(株) (株)鳥善 (株)トレードトラスト 中北薬品(株) 永田木材(株) 西静岡ヤクルト販売(株) 日本環境マネジメント(株) 日本生命保険(相) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)浜松営業所 認定栄養ケア・ステーションちょぼ NPO法人認知症予防研究室 (有)ぬくもり工房 (株)脳リハビリネットワーク ノバルス(株) 野村不動産ライフ&スポーツ(株)メガロス浜松市野 パイフォトニクス(株) 橋本螺子(株) 羽立工業(株) 働くみんなの保健室 (医)はつおい歯科室 (株)PanAcea はまきた施術院小池店 浜松エフエム放送(株) (株)浜松グランドボウル 認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ (公財)浜松市花みどり振興財団 浜松綜合法律事務所 (公財)浜松地域イノベーション推進機構 (株)浜松人間科学研究所 浜松パワーフード学会 (一財)浜松光医学財団 (医)浜松南病院 (株)原川 B-up yoga education (同)PSTJ (一財)東日本小型自動車競走会 美的ケアTAPPY ファンピッキング(株) (株)フィグメント (同)FoodOfficeハチドリ ForeverGrace (株)フォーリア 富国生命保険(相)浜松支社 (株)フジEAPセンター 藤井社会保険労務士事務所 富士通Japan(株) プライベート相談室cocoro sapo (一社)Platoo (株)PREVENT (株)BLUE LAKE Project (一社)ブレス浜松 (株)ベイシアフードセンター浜松都田テクノ店 (株)ベイシアフードセンター浜松雄踏店 HEALTH FIRST(株) ヘルツ電子(株) (株)ボイスクリエーションシュクル 訪問アロマ〜木漏れ陽〜 (株)北伸 ホテルクラウンパレス浜松 ホトニクス・グループ健康保険組合 (同)PORTO 毎日企業(株) (株)マジックシールズ まちの看護相談室り〜ぶ (Live) マックスバリュ東海(株) (一社)みんなの認知症情報学会 (株)ミズタニ 三井住友海上あいおい生命保険(株) 三井住友海上火災保険(株) (有)むつみ製パン (株)村松商店 社会保険労務士法人村松事務所 Make You Smile 明治安田生命保険(相)浜松支社 Maintain Brain(株) メディアミックス(株) (株)メディセオ メンタルウエルネスアナベル (株)MentalBase (株)モアソンジャパン 森本社会保険労務士事務所 (株)八神製作所浜松営業所 矢崎(株)ヤタロー (株)YAMADA ヤマハ健康保険組合 (株)山本エコロジーサービス ユービーサポート (株)Yui support(株) 雪印ビーンスターク(株) ゆずりはHAMAMATSU ユニー(株)プレ葉ウオーク浜北 ヨクト(株) (株)LightNow (株)LIFEAT. ライフサポートオフィス松下 LIFE STYLE (株)LiveDune らぼーる鍼灸院 LalaKaren (株)リィ リコージャパン(株)静岡支社 医療法人Respect 社会保険労務士事務所リッシュ (株)リバランス (株)Re・lation ROOM L.09 (株)ロイヤリティマーケティング ロート製薬(株) ローム・デバイスマニュファクチャリング(株) ロボセンター技研(株) YK・コラボ(株)

浜松医科大学 静岡大学 聖隷クリストファー大学
常葉大学 聖隷福祉事業団 浜松市医療公社 浜松市
医師会 浜松政令市医師会 浜松市歯科医師会 浜松
市薬剤師会 静岡銀行 浜松磐田信用金庫 遠州信用
金庫 浜松商工会議所 浜松市社会福祉協議会 浜松
市シルバー人材センター 全国健康保険協会静岡支部
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 (株)日本政
策金融公庫浜松支店

(1)市民の健康増進(健康寿命の延伸)

①はままつ健幸クラブ

- ・ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」を活用して、浜松ウエルネスプロジェクトへの市民の参加拡大や健康増進活動等の促進、健康無関心層の活動変容等を促す。
登録者数：令和7年度3月末で25,774人

②健康ビッグデータ分析・評価事業

- ・市民の健康診断データを分析し、その結果から健康寿命の延伸に影響を及ぼすリスク要因を追求し、本市の健康的特徴とその要因の明確化を図る。

③社会課題解決キャンペーン

- ・高血圧などの生活習慣病予防を目的に「減塩・低カロリープロジェクト／減塩キャンペーン」／浜松市医師会、はままつ食de元気応援店等
- ・野菜摂取増加推進を目的に皮膚カロテノイド測定器で野菜摂取状況を見える化「ベジアップキャンペーン」／はままつ食de元気応援店、推進協議会会員企業・団体等

④健康づくりの「できること」と「お困りごと」の共有(出張！はままつ健幸講座)

- ・推進協議会会員企業・団体が、市民及び地域企業等を実施するオンデマンド型のヘルスケア事業(講座・セミナー等)を集約し、市民や地域企業等に広く公開。現在、企業向け18社・団体48メニュー、市民向け15社・団体34メニューを公開

⑤官民連携共同研究事業(市民に向けた野菜摂取量増加推進事業)

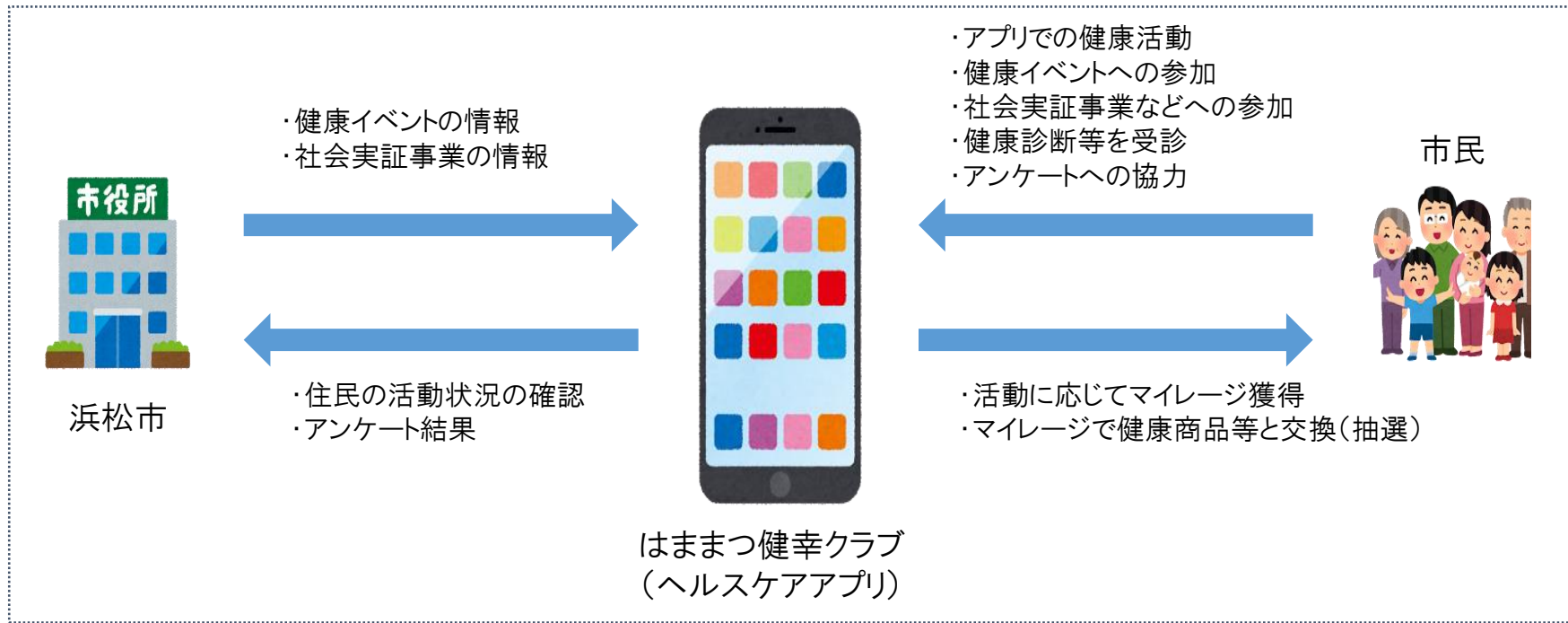
- ・市民の野菜摂取状況の見える化プロジェクトとして、皮膚カロテノイド測定器(ベジメータ(R))を活用し、野菜摂取状況の数値化を通じた食習慣の変化を検証／聖隷浜松病院・常葉大学・浜松医科大学
- ・静岡大学附属浜松小中学校を対象に実施した研究結果を公表「測定と啓発を重ねるほど測定値が上昇」
- ・市HPIにおいて、研究内容の概要を紹介

⑥その他、官民連携、民民連携によるヘルスケア事業の推進

- ・生活習慣病予防向けメニュー開発「いいら！減塩」おいしいレシピ／(株)杏林堂薬局
- ・子宮頸がん検診無料クーポン等デザイン作成／聖隷クリストファー大学SGE♡プロジェクト
- ・浜松パワーフードフレイル予防プロジェクト「栄養はなまる弁当」／浜松パワーフード学会、聖隷福祉事業団保健事業部、遠鉄ストア
- ・健幸「私菓心(わがし)」／巖邑堂、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・人間ドック食/ヤタローグループ、聖隷予防検診センター、聖隷クリストファー大学SGE♡プロジェクト
- ・「ヘルシースムージー」プロジェクト／プレス浜松、聖隷福祉事業団保健事業部、Food Officeハチドリ
- ・「乳がん検診啓発に向けた和菓子「びんくりぼん」」／巖邑堂、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・健康ウォーキングイベント「プレス浜松の選手と歩こう」／プレス浜松、SOMP0ひまわり生命保険(株)、はままつフラワーパーク
- ・「はままつ健幸クッキング」／(株)杏林堂薬局、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・健康省エネ住宅の推進／健康省エネ住宅を推進する国民会議
- ・エビデンスに基づく効果的なウォーキング方法「はままつ健幸歩き」／浜松リハビリテーション病院、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・ご当地けんこう体操「はままつ健幸たいそう」／聖隷福祉事業団保健事業部、浜松リハビリテーション病院
- ・スマイルフルウエルネス宿泊ドック／遠鉄観光開発、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・ホテルコンコルド浜松シャンゼリゼ ランチバイキングメニュー3種類の開発／遠鉄観光開発、聖隷クリストファー大学、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・はままつスマイルベーカリープロジェクト／杏林堂薬局、聖隷福祉事業団保健事業部
- ・げんきな免疫プロジェクト(プラズマ乳酸菌飲料配布、熱中症対策)／キリンホールディングスほか
- ・オーラルフレイル予防「カムカム健康プログラム」／東京科学大学、あいおいニッセイ同和損保(株)

(1)市民の健康増進(健康寿命の延伸)

①はままつ健幸クラブ



目的

浜松ウェルネスプロジェクトへの市民の皆様の参加拡大、健康増進活動等の促進、健康無関心層の行動変容など

特徴

浜松ウェルネスプロジェクト事業や健康イベント等への参加により健康マイレージ(ポイント)を付与し、ポイント数により健康商品や地場産品が獲得できる特典

リリース

2022年10月

目標会員数

令和8年度末30,000人、令和9年度末35,000人

(1)市民の健康増進(健康寿命の延伸)

①はままつ健幸クラブ

浜松市公式ヘルスケアアプリ

はままつ健幸クラブ

参加者募集中

利用料 無料

ポイント貯めて応募すると景品が当たる!

歩いて記録してポイントをゲット!

貯まったポイントで浜松市の特産品やデジタルギフトが当たるチャンス!

maica

giftee Box

アプリのダウンロードはこちら

お問い合わせ窓口

カラダライブコールセンター

0570-077-122

※利用料は別途必要です。詳しくはアプリのヘルプをご覧ください。

約26,000人が登録!(令和8年5月現在)

はままつ健幸クラブ

日々の健康づくりの取り組みをアプリで見える化します!

目標達成で100P

グラフ

月間の歩数、距離、消費カロリーなどの変化を表示!

目標設定

歩数と体重を自分で目標設定!グラフで月間推移や目標達成度を確認!

生活習慣チェック

食事や睡眠など生活習慣に関する行動をチェック!

ランキング

全体、性別、グループ別、企業別のランキングを表示!

記録機能

体重や血圧、健(検)診の記録をアプリで管理!

健康イベントへの参加

健康イベントや実証事業等の情報をいち早く配信!参加すると高ポイント獲得!

コース達成で100P

健康イベント参加で300P

健康イベント参加で5P/日

詳しい情報はHPへ <https://hamamatsu.karada.live/>

はままつ健幸クラブ 検索

(3) ヘルスケア産業の創出：浜松ヘルステックシンポジウム

- 浜松におけるヘルステックの活用・期待・展望、ヘルステック企業と地域企業・団体との共創や、「浜松ウエルネスプロジェクト」等の本市のヘルステック支援の取組紹介などを目的に、「浜松ヘルステックシンポジウム」を開催。
- 令和3年から毎年実施し、社会的に注目が高いテーマと掛け合わせた内容を提供している。

浜松市
浜松ヘルステックシンポジウム2023
～「食とヘルステック」によるウエルネスシティ（予防・健康都市）の実現に向けて～

会場：2023 12/11(月) 14:00～16:20
[開場 13:30]
会場：グランドホテル浜松2階 孔雀の間
オンライン配信も同時実施

入場料：参加費100名
参加費100名

《浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」ポイント付与対象イベント》
当日会場にて、スマホ特設会場にて浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

《浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」ポイント付与対象イベント》
当日会場にて、スマホ特設会場にて浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

ぜひ、会場へお越しください！

PROGRAM

14:00～14:05 浜松市長 中野 祐介
フェムテック最前線！
テクノロジーで実現する女性ヘルスケアの未来
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

14:05～14:45 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

14:45～15:10 女性特有の健康課題に
配慮した環境づくりについて
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

15:20～16:20 女性の健康（ウエルネス）支援のためのフェムテックの活用
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

参加申し込み方法
申込フォーム（QRコード）より
必要事項をご記入の上お申し込みください。
※お申し込みは12/15日までに完了してください。

主催／浜松市・浜松ウエルネス推進協議会 後援／浜松市会議員、公益財団法人 浜松市健康・医療・福祉推進機構

▲令和5年度 テーマ「フェムテック」

浜松市
浜松ヘルステックシンポジウム2024
～「食とヘルステック」によるウエルネスシティ（予防・健康都市）の実現に向けて～

会場：2024 12/17(火) 14:00～16:30
[開場 13:30]
会場：グランドホテル浜松2階 孔雀の間
オンライン配信も同時実施

参加無料
定員100名
参加申し込み方法
申込フォーム（QRコード）より
必要事項をご記入の上お申し込みください。
※お申し込みは12/15日までに完了してください。

《健康測定会》
当日会場にて、株式会社社会科学院による健康測定（体脂肪率・血圧・血糖値）を実施します。
※測定は1人1人順番に実施します。測定結果は当日のうちに結果がわかります。

《浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」ポイント付与対象イベント》
当日会場にて、スマホ特設会場にて浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

ぜひ、会場へお越しください！

PROGRAM

14:00～14:05 浜松市長 中野 祐介
「食とヘルステック」がもたらす健康な未来
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

14:05～14:45 浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

14:45～15:10 市民の健康（ウエルネス）支援のためのヘルステックの活用
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

15:20～16:30 市民のヘルステック推進に向けた「食とヘルステック」
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

参加申し込み方法
申込フォーム（QRコード）より
必要事項をご記入の上お申し込みください。
※お申し込みは12/15日までに完了してください。

主催／浜松市・浜松ウエルネス推進協議会 後援／浜松市会議員、公益財団法人 浜松市健康・医療・福祉推進機構

▲令和6年度 テーマ「フードテック」

浜松市
浜松ヘルステックシンポジウム2025
～「睡眠とヘルステック」によるウエルネスシティ（予防・健康都市）の実現に向けて～

会場：2025 12/11(木) 14:00～17:00
[開場 13:30]
会場：グランドホテル浜松2F 中ホール 孔雀の間
オンライン配信も同時実施

参加無料
定員100名
参加申し込み方法
申込フォーム（QRコード）より
必要事項をご記入の上お申し込みください。
※お申し込みは12/8日までに完了してください。

《浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」ポイント付与対象イベント》
当日会場にて、スマホ特設会場にて浜松市公式ヘルスケアアプリ「はまっく健康クラブ」のインストール・利用を促進します。

ぜひ、会場へお越しください！

PROGRAM

14:00～14:05 浜松市長 中野 祐介
睡眠とヘルステックがもたらす健康な未来
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

14:05～14:45 市民の健康（ウエルネス）支援のためのヘルステックの活用
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

14:45～15:10 市民のヘルステック推進に向けた「睡眠とヘルステック」
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

15:20～16:30 市民のヘルステック推進に向けた「睡眠とヘルステック」
講師：一般社団法人Future Community Japan / Future & 代表理事 関川 基子氏

参加申し込み方法
申込フォーム（QRコード）より
必要事項をご記入の上お申し込みください。
※お申し込みは12/8日までに完了してください。

主催／浜松市・浜松ウエルネス推進協議会 後援／浜松市会議員、公益財団法人 浜松市健康・医療・福祉推進機構

▲令和7年度 テーマ「スリープテック」

浜松ウエルネス・ラボ

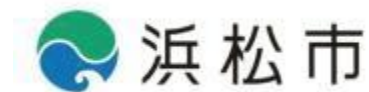
●参画企業



●参画団体



浜松市医療公社

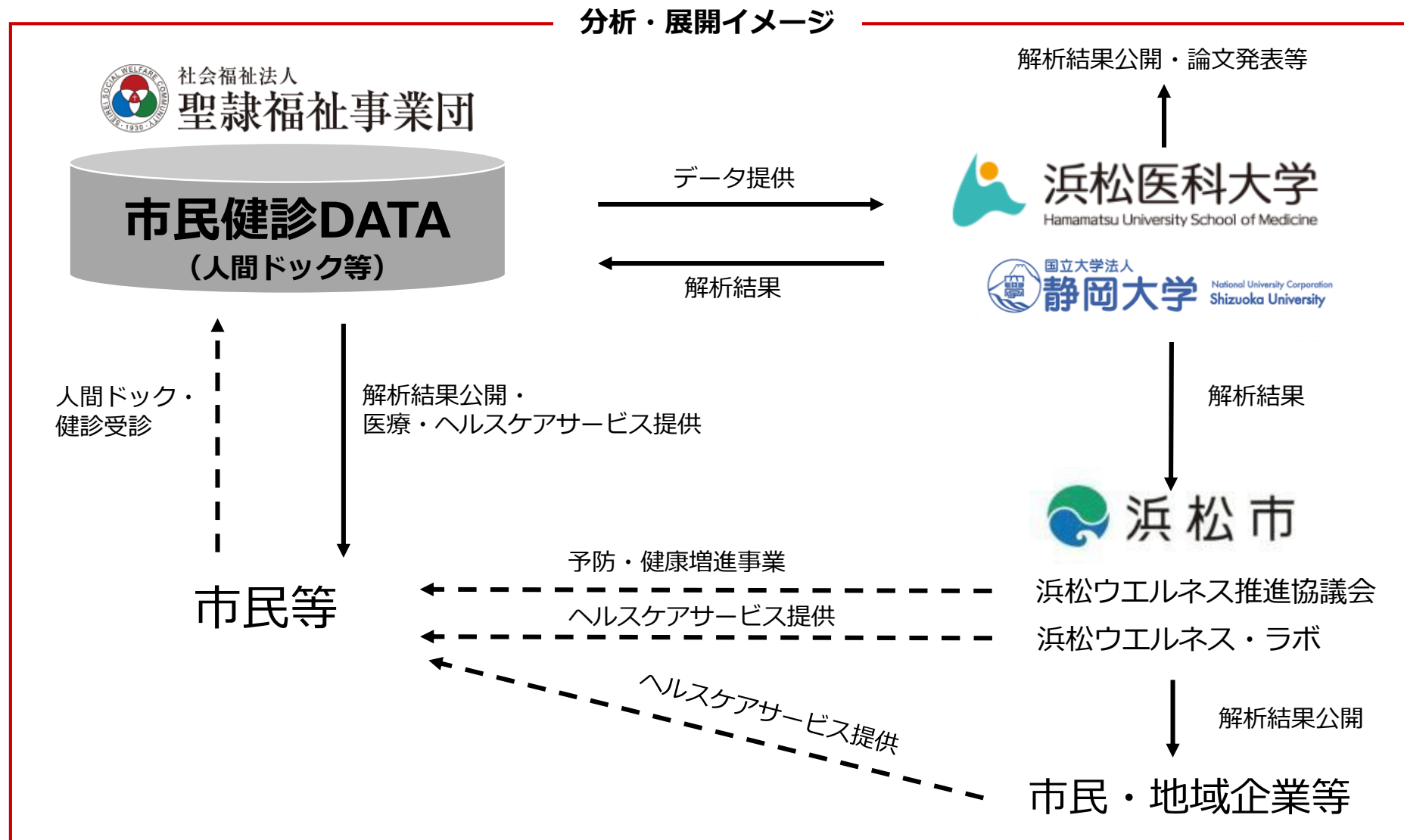


官民連携社会実証事業のこれまでの実績

企業名 (50音順)	事業名
	聖隷MCIスタディ ～もの忘れが気になる方の認知機能に対するβラクトリンの効果検証研究～
	中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究
	「笑い」が脳機能に及ぼす健康効果に関する研究
	“脳の健康習慣化”に向けた「麒麟 脳ケアチャレンジ！」
 SOMPOひまわり生命	デジタル技術&ヒューマンタッチによる血糖コントロール
	生活習慣病保有者に対する生活習慣改善支援プログラムの効果検証並びに費用対効果に特化した成果報酬連動型モデルの開発
	高齢ドライバーにおける日常運転行動特性と認知機能の関係性：前向きコホート研究
 SHD Social Healthcare Design	健幸度向上支援プログラム実証事業 ～第一弾 健幸度向上研修事業～

健康ビッグデータ分析

- 聖隷福祉事業団、浜松医科大学、静岡大学、浜松市が連携して、**聖隷福祉事業団が有する健診（人間ドック）ビッグデータを活用し、本市の健康寿命日本一の要因や本市（市民）が抱えている疾病リスクなど多角的かつ詳細に明らかにしている。**
- 市や地域企業・関連団体等は、分析結果を「予防・健康都市」実現に向けた施策や各種ヘルスケアサービスの提供に活用する。



Wellness City Hamamatsu 予防・健幸都市

《浜松ウエルネスプロジェクトホームページ》

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/wellnessproject/>

《お問い合わせ》

浜松市ウエルネス推進事業本部

TEL: **053-457-2129**

E-mail: **wellness@city.hamamatsu.shizuoka.jp**

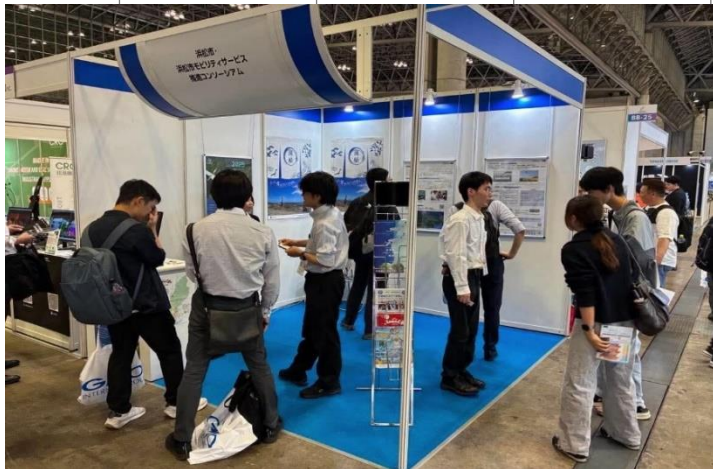
各委員からの取組発表



<モビリティ分野 飯尾委員>

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

令和8年度の活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			●7/1 コンソーシアム会議				コンソーシアム会議●				
 A photograph showing several people gathered around a white booth with blue accents at an indoor event. The booth has signage that includes "日本ドローンサービス協会". A person is standing near the booth entrance.				サービス創出支援業務 ●9/18 インプットWS ●11/6 ブラッシュアップWS ●市民体験プログラム							
●6/3-5 JapanDrone出展				●11/27-28 ドローンサミット							
						◎10/8 浜松モビリティフェスタ					

浜松モビリティフェスタ



日 時

2026年10月8日(木) **11時~16時**

場 所

遠鉄自動車学校
浜松市中央区小池町1552

主催・共催

主催 損害保険ジャパン
共催 遠州鉄道、スズキ、浜松市

<3つの観点からコンテンツを用意>

運転寿命延伸に
つながる体験



サポカー展示・体験



新たなモビリティの
ご紹介・体験



各委員からの取組発表

一括配信システムによる同報無線の放送
＜防災・安全分野 清水委員＞



■取組名称

一括配信システムによる同報無線の放送

■背景・目的

- ・本市では、音達調査等を経て、デジタル同報無線を整備してきましたが、中山間地域では地形や気象条件等により、局所的に電波が届きにくい場合があった。
- ・こうした課題を既存設備を維持しつつ情報伝達の確実性を高める補完手段について検討をした。

■取組概要

- ・期 間：令和8年2月27日
- ・場 所：天竜区春野地域
- ・実 証：避難情報等の一括配信システムから音声合成によりLTE網を使って同報無線の放送を再現する。

■取組成果

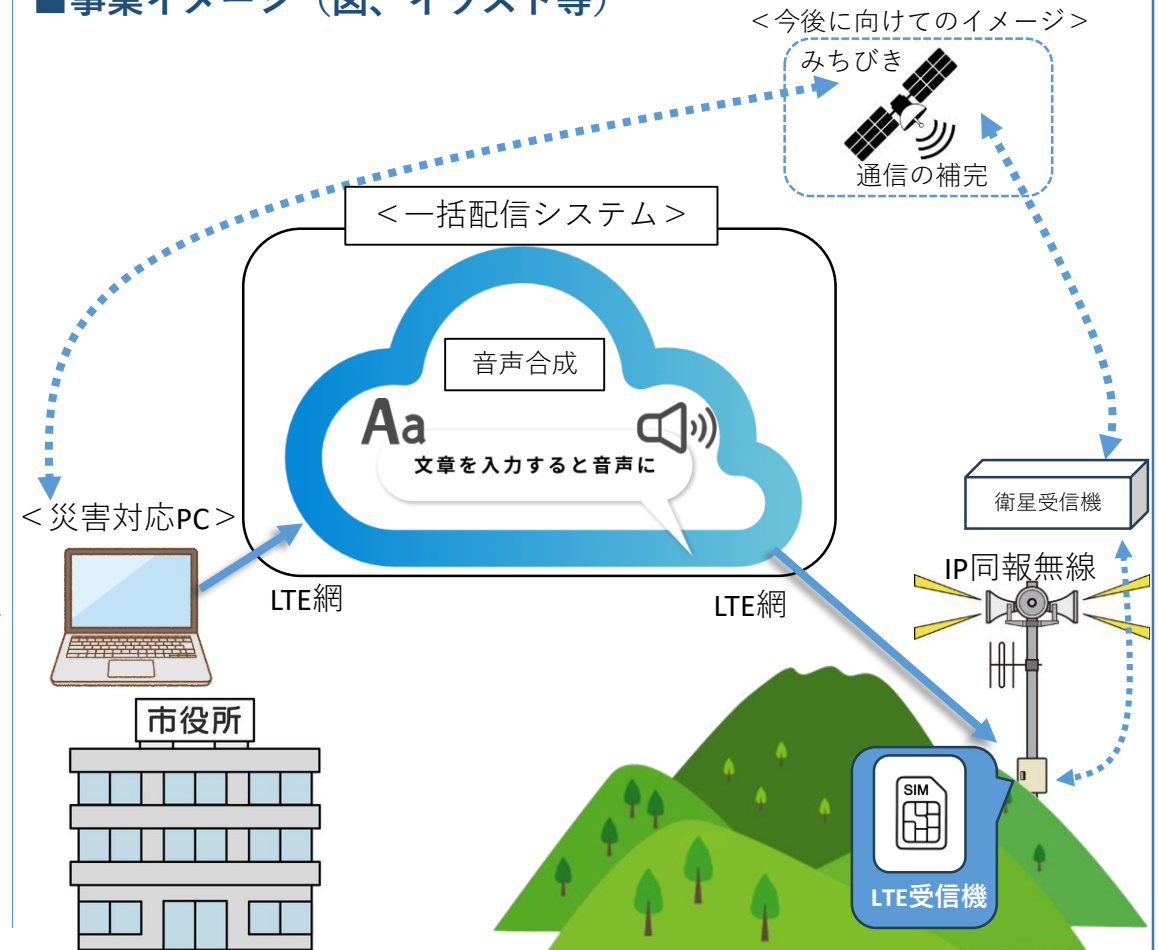
- ・音声合成による迅速な放送の実現と既設の放送内容と遜色ない放送内容を現地で聴取することができた。

■今後に向けて

- ・R8年度中には、地形や気象条件等により局所的に電波が届きにくい場所については、LTE通信を活用した屋外スピーカーを設置していく予定である。
- ・また、LTEの地上通信網の停波による通信手段の補完について、今後、衛星通信の活用を検討する。

※R8年度、準天頂衛星通信「みちびき」内閣府「災害・危機管理通報サービス」を活用した実証事業に㈱ミライエがエントリーをしており、本市はフィールドの提供を予定

■事業イメージ（図、イラスト等）



各委員からの取組発表

- ①道路冠水情報提供システム（冠水センサー）
- ②積雪センサー等によるリアルタイムでの積雪情報の取得
＜社会資本・インフラ分野 加藤委員＞



■取組名称

道路冠水情報提供システム（冠水センサー）（道路保全課）

■背景・目的

- 近年の降雨特性（総雨量増、豪雨化）により、市内の各所で道路冠水が発生
- 道路冠水発生は、職員のパトロールでの確認のほか、市民等からの通報によることも多く、冠水後の交通規制対応に時間を要することが課題
- 冠水の発生を早期に覚知し、迅速な通行規制対応や防災情報を市民へ情報提供することが目的。

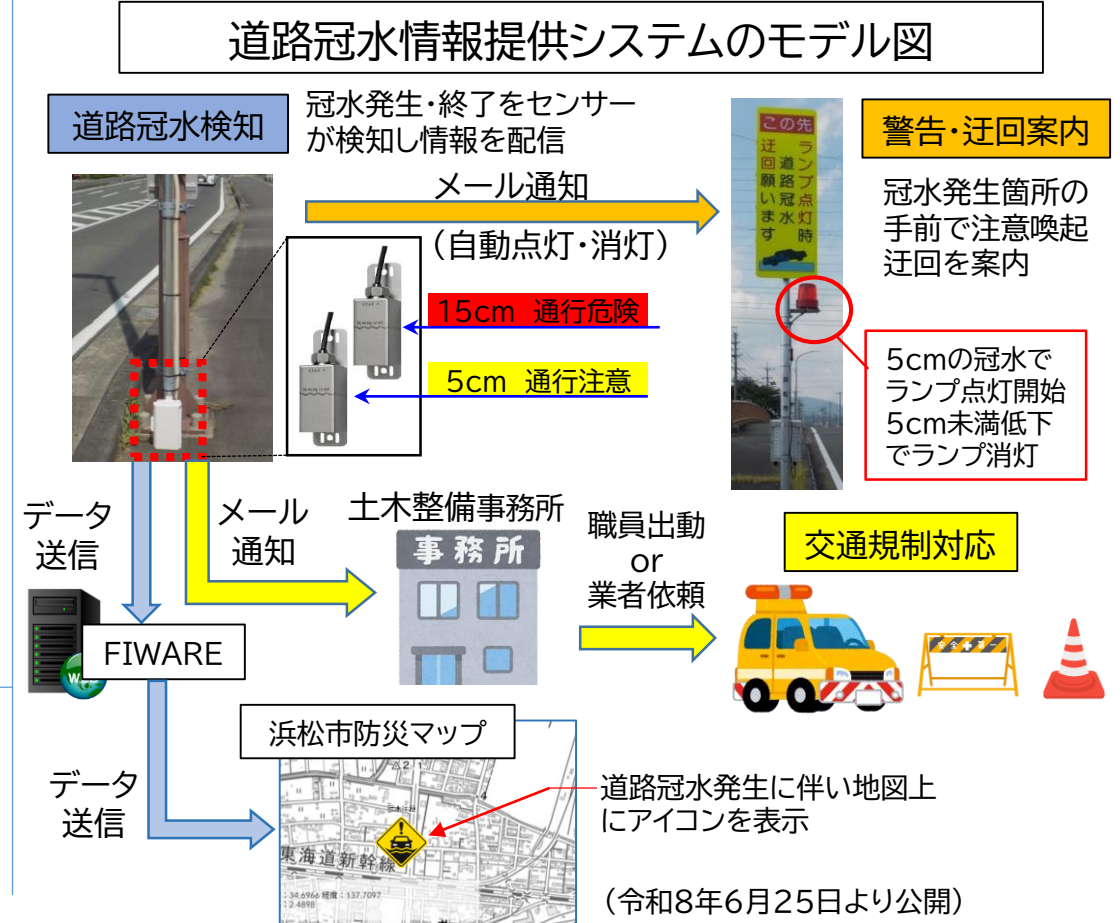
■取組概要

- 令和4年9月2日の豪雨及び同月に発生した台風第15号に伴う道路冠水の発生や、立ち往生車両による交通規制解除の遅れを受け、道路冠水の発生を道路利用者に知らせる道路冠水情報提供システムの実証実験に着手。
- 道路冠水が多発する路線6箇所に11基のセンサーを設置。
- 通行規制の判断情報として活用すると共に、道路冠水が発生箇所への車両進入による二次被害（車両の立ち往生や沿道施設への浸水被害の悪化）を防止するため、センサーと連動した警告灯を設置し、迂回等の注意喚起を行っている。
- 令和8年6月3日の台風第6号接近に伴う大雨の際には、若林町に設置したセンサーの冠水検知を受け、迅速な交通規制を実施した。

■今後に向けて

- センサーが検知したリアルタイムの冠水発生状況について、令和8年6月25日より「浜松市防災マップ」で公開している。
- 道路冠水の発生頻度の高い箇所への冠水センサー及び警告灯の増設を進める。

■事業イメージ（図、イラスト等）



■取組名称

積雪センサー等によるリアルタイムでの積雪情報の取得（道路保全課）

■背景・目的

- ・積雪における異常気象時通行規制区間は、浜松市内に7区間(L=84.5km)あり、冬季には積雪深に応じて、通行注意や通行止めの情報発信等を実施。
- ・積雪状況については現地にて確認する必要がある。
- ・現地確認により、管理基準値を超過している場合には、通行規制を実施することから、規制実施までに時間を要する。
- ・管理基準値を超過していない場合は、再度、現地を確認する必要がある。（複数回確認することもある）
- ・遠隔地のため、現地まで時間がかかり、複数回の確認は、職員の負担が大きい。また、雪道の運転であることから、スリップ等による事故発生の可能性もある。
- ・積雪センサー等の整備により、リアルタイムに積雪状況を把握することが可能となり、初動対応の迅速化と職員の負担軽減及び安全性の確保も期待できる。

■取組概要

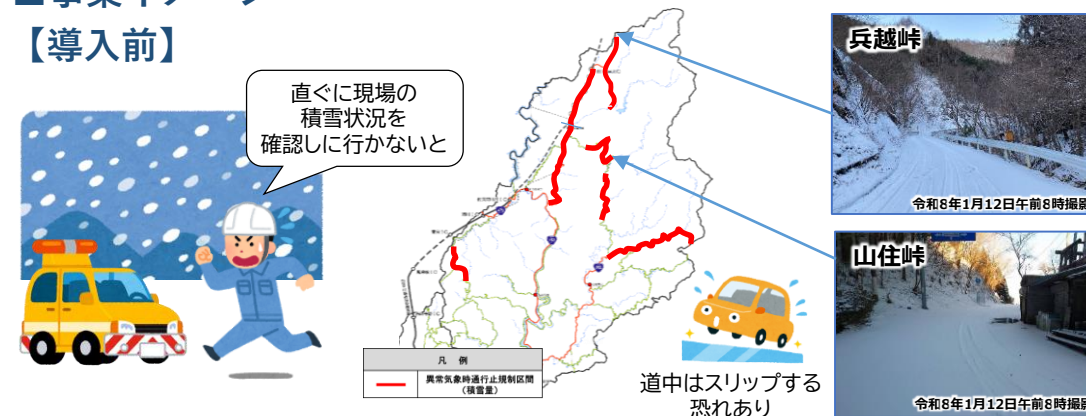
- ・令和7年度：積雪センサー等の性能調査
- ・令和8年度：天竜区水窪地区に1基設置予定。
設置後は通行規制の判断情報として活用予定。

■今後に向けて

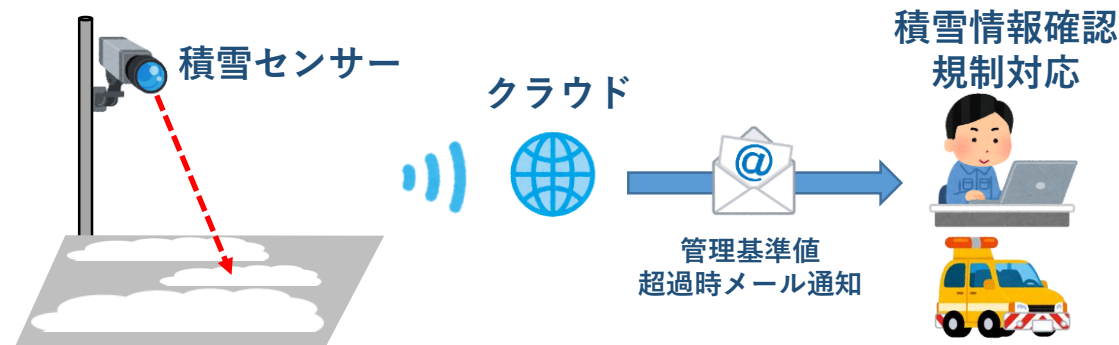
- ・設置後の精度と効果について検証。
- ・検証結果に基づき追加設置の検討。

■事業イメージ

【導入前】



【導入後】



各委員からの取組発表



学校における生成 A I の活用
＜教育・子育て分野（教育） 吉積委員＞

■取組名称 学校における生成A I の活用

（１）業務負担の軽減と効率化による教育の質の向上

■背景・目的

- 1 生成A I を利活用することで、教職員が日々の多忙な業務負担を軽減し、効率化を図ることで、子どもと向き合う時間や、教材研究といった本質的な業務に一層注力できるように支援する。
- 2 生成A I を「賢いアシスタント」として活用することで、働き方改革を推進し、ひいては本市の教育の質の向上に繋げることを目指す。

■取組概要

1 利用する生成A I サービス

市が利用している教育機関向けサービス「Google workspace for Education」のコアサービスとして提供される「Gemini」および「Notebook LM」を活用

〈仕様〉

- （１）入力した情報はA I モデルの学習に使用されない
 - （２）原則、利用に年齢制限はない
 - （３）児童生徒が利用する際に、不適切または有害な可能性のある回答を防ぐ
 - （４）学習用に調整されている
- 2 利用開始日：令和7年10月22日（水）（教職員を対象）

■今後に向けて

- 1 教育センターにおいて生成A I の活用について研究を行い、児童生徒への展開について検証する。
- 2 上記研究を踏まえ、児童生徒の活用に向け検討していく予定。

■活用事例

1 校務における生成A I の活用

案内文や挨拶文などの下書き作成や授業のアイデア出し、各種アンケートの集計や分析などで生成A I を活用し効率化を実現

2 学校における経営方針の策定に生成A I を活用

データ分析や可視化でA I を活用し、分かりやすい学校経営方針を策定

3 作成したA I チャットボットを活用

マニュアルや手引きなどを使い、校務支援システムなどの問い合わせ支援

教育現場を支える「賢いアシスタント」：生成AI活用のイメージ



■取組名称 学校における生成A I の活用

（２）外国語授業における生成A I 活用事業

■背景・目的

- 1 本市の分析では、児童生徒の「話すこと」の領域における英語力に課題が見られ、発信力・対話力の強化が求められている。
- 2 生成A I を活用した英語学習環境を整備し、児童生徒の英語力の向上を図る。

■取組概要

1 令和7年度

市内3小中学校が、国の英語教育における生成A I 活用に係る実証事業に参画し、児童生徒の英語力・学習意欲の向上につながる結果が得られた。

〈 結果 〉

（１）英語力の変化（CEFR A1（英検3級）相当以上の英語力を有する生徒の割合）
59.3%（6月）⇒77.0%（12月） +17.7pt

（２）学習意欲の変化（「英語の勉強が好き」と回答した生徒の割合）
52.5%（6月）⇒66.0%（12月） +13.5pt

※モデル校中学校3年生対象

2 令和8年度

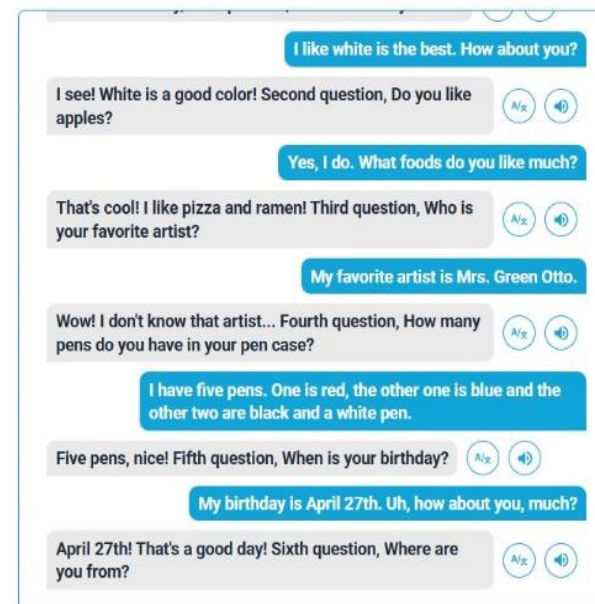
令和7年度の実証校を浜松市指定教育研究校とし、A I を効果的に活用する授業デザインの構築に向けた取組を継続し、授業公開によりその成果を周知する。

■今後に向けて

- 1 英語教育における生成A I を活用した教材の使用を継続し、活用モデルの構築と児童生徒の英語力向上を図るとともに、得られた成果を順次市内展開する。
- 2 研究校の検証を踏まえ、全ての市立中学校への導入を検討する。

■事業イメージ（図、イラスト等）

- 1 生成A I との英語による会話練習
- 2 発音等をA I が評価



やり取りの内容がすぐに英文で表示され、後で確認することが可能



A I キャラクターとの音声による英語でのやり取りが可能



A I キャラクターとのやり取りに取り組む生徒

第2回運営委員会以降の意見交換に関する提案



目的

官民連携プラットフォーム運営委員同士による新プロジェクトの創出や分野間の連携を図るため、委員同士の意見交換を促進する。

実施方法

- ①第1回運営委員会にて各委員から発表のあった内容について、より詳しく知りたい、この内容について各委員と意見交換をしたいと思うものを、理由と併せてご回答ください。
- ②回答のあった内容を事務局で取りまとめ、第2回運営委員会以降で取り扱うテーマを決定。
決定したテーマについては、事前に各委員に案内します。
- ③決定したテーマについて委員会内で意見交換を行います。

アンケート

以下URLまたは二次元コードからご回答をお願いいたします。【回答期限：7/24（金）】

<URL>

<https://logoform.jp/form/Savd/1675721>

<二次元コード>

